

近代英語協会ニュースレター

2017(平成 29)年 8 月 31 日

近代英語協会事務局分室

〒722-8506 広島県尾道市久山田町 1600 番地 2

尾道市立大学芸術文化学部平山研究室内

協会ホームページ <http://www.modernenglish.jp/html>

電話: 0848-22-8311(代表番号)

年会費振替口座 00810-9-5821

1 第 34 回大会の報告

去る 6 月 24 日(土)に、青山学院大学において開催され、青山学院大学副学長の外岡尚美先生より開催校ご挨拶を頂き、続いて 1 件のシンポジウム、4 件の研究発表、青山学院大学名誉教授・本協会顧問の秋元実治先生によるご講演が行われました。発表者と司会者の皆様、お疲れさまでした。ご参加いただいた会員の皆様には、熱心にご清聴いただき、また、貴重なコメントや質問をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

今大会の参加者数は 85 名でした。多くの皆様にご参加いただき、大変喜んでおります。44 名の方が出席された懇親会では、諸々の話題に花が咲き、瞬間に 90 分が過ぎ行きました。どうか会員の皆様には、次回も万障お繰り合わせの上ご出席を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。なお、年度別参加者数は次のとおりです。

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
大会	約 80	72	85	79	84	83	92	84	85
懇親会	25	39	38	40	39	40	48	42	44



大会の一場面



シンポジウム講師の小倉美恵子先生、岡崎正男先生、堀田隆一先生、司会の服部義弘先生(左から)

2 第35回大会について

次回大会は、2018年6月23日（土）、京都大学（京都市）において開催を予定しております。シンポジウムは、広島大学の今林修先生を司会として、話法に関するテーマで行われます。また、京都大学名誉教授・本協会顧問の豊田昌倫先生と、Ben Crystal 氏による連結講演が行われます。David Crystal 氏の御子息である Ben Crystal 氏は、Shakespeare の original 発音の研究をされているイギリスの俳優で文筆家・演出家です。

個人研究発表の締め切りは2018年1月31日（水）です。発表をご希望の方は、(a) 発表題目と300字程度の要旨、(b) 氏名・所属・職位・略歴・連絡先（住所、電話番号、Eメールアドレス）・**大会発表助成金希望の有無（※参照）**を別文書として作成し、下記の（ア）、（イ）いずれかの方法でご応募ください。

（ア）電子メールによる応募

- ・(a) MSWord 文書、及びその pdf. ファイルを添付。
- ・(b) MSWord 文書のみ。

宛先 hirayama@onomichi-u.ac.jp

（イ）郵送による応募

- ・（ア）の(a)又は(b)を入れたフロッピーディスクまたは CD-R
- ・打ち出し原稿

宛先 〒722-8506 広島県尾道市久山田町 1600-2

尾道市立大学 芸術文化学部 平山直樹

※ 大会発表助成金制度について（一部変更）

本協会では、学会参加への費用を軽減し、若手研究者を中心に学会発表を奨励するため、学会発表助成金制度を設けております。助成対象者は、発表を行う大学院生・常勤職のない会員（発表を行う年の4月1日時点で37歳以下または修士号取得後10年以内で、所属機関等より大会会場への交通費の補助を受けていない者）といたします（下線部を変更しましたので、ご注意ください。前年度まで「申請時」としておりました）。

また、助成金額は、自宅から大会会場までの国内交通費（往復）とし、交通費の計算は協会事務局が行います。なお、申請方法は、大会発表の受理後に、申込用紙（発表応募時に希望を明記）に詳細を記入し、事務局に提出頂きます。多くの発表の応募をお待ちしております。

次回大会より、経費削減、および利便性向上のため、大会・懇親会への出欠を E メールでお知らせいただくことといたしますので、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。なお、E メールアドレスの登録のない方については、従来通り葉書を同封いたします。

3 理事の交替について

2018年3月31日をもちまして、小倉美智子氏、菊池繁夫氏、児馬修氏、田辺春美氏、服部義弘氏の5名の理事が任期を満了し退任されます。長きに渡り協会の発展にご尽力頂き、誠に有り難うございました。なお、新理事として、今林修氏（広島大学）、柴崎礼士郎氏（明治大学）、田中智之氏（名古屋大学）、谷明信氏（兵庫教育大学）、堀田隆一氏（慶応義塾大学）が就任されます。任期は、2018年4月1日～2022年3月31日の2期4年です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

4 『近代英語研究』 第33号の発行について

第33号は予定どおり刊行され、大会ご出席の会員の方々には当日お渡しいたしました。当日ご欠席の会員の方々には、このニュースレターとともに同封いたしました。大会ご出席の会員の方で、もしお受取になってない方がいらっしゃいましたら、お手数ではございますが、事務局長平山までお知らせください。改めて送付させていただきます。

5 『近代英語研究』 第34号の原稿募集について

第34号（2018年6月発行）の投稿締め切りは 2017年9月15日（金） となっております。奮ってご応募ください。審査は匿名で行われます。

なお、第34号より、新しい投稿規定・投稿要領が適用されます。第33号の巻末、または協会ホームページ左下「協会出版物」の中の「投稿要領・書式見本・執筆者情報ファイル」をご覧ください。応募原稿、同電子ファイルの送付先は以下の通りです。

- ・電子ファイル
sme.meajapan@gmail.com
- ・打ち出し原稿
〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000
弓削商船高等専門学校総合教育科 坂内宏行

英語論文に関して、英語を母語としない投稿者は、投稿前に必ずネイティブ・スピーカーによる原稿のチェックを受けた上でご応募ください。また、他の学会誌への二重投稿はお控えください。

6 近代英語協会最優秀新人賞ならびに優秀学術奨励賞の選考結果について

本年度は、『近代英語研究』第33号投稿論文の執筆者の内、2名の応募者があり、編集委員会による厳正なる審議の結果、下記のとおり1名の優秀学術奨励賞受賞者が決定いたしました。次年度も応募をお待ちいたしております。

賞の名称：優秀学術奨励賞

受賞者氏名：菊地翔太、所属：東京大学大学院

受賞対象論文名：A Comparative Study of *Wh*-Relativizers in Shakespeare and Fletcher

受賞理由

シェイクスピアとフレッチャーの共作とされる『ヘンリー8世』と『二人の貴公子』における *wh* 関係詞のヴァリエーションと使用分布を調査することにより、従来唱えられてきた執筆分担に関する分析を補強するデータが得られるという論考である。

筆者は、1) *the which* の分布、2) 前置詞随伴 (*preposition pied-piping*) と *where* 複合語、および、3) 前置詞残留 (*preposition stranding*) と前置詞随伴に関する先行研究を可能な範囲で網羅的に提示し、論旨に不可欠な関係詞のヴァリエーションと使用分布の通史的視点を提示している。そうした関係詞の通史的变化の中に、シェイクスピアとフレッチャーによる比較的近い時期の作品群を照らし合わせ、同様の变化の跡が確認できることを例証している。また、シェイクスピアとフレッチャーの各々の作品中だけではなく、共作とされる『ヘンリー8世』と『二人の貴公子』にも、2者による関係詞の使い分けが確認できることが論じられている。

限られた紙幅の中で、通史的視点、作家研究、および、作品研究という複合的な分析手続きが有機的に結合しており、説得力を持つ考察結果として提示されている。また、英文論文として日本国内に留まらぬ発信力も備えている。今後、より多くの先行研究を精査し、結論部に述べられている課題に取り組むことで、より一層の飛躍を期待したい。

以上の理由により、本論文は「優秀学術奨励賞」にふさわしいと判断する。

— 『近代英語研究』編集委員会

なお、賞には、最優秀新人賞と優秀学術奨励賞の2種類があります。若手による当該年度の掲載論文の中から、前者は特に秀でている論文に、後者は、最優秀新人賞には至らないが将来性を感じさせ優れていると評価された論文に与えられます。最優秀新人賞には表彰状と記念品が、優秀学術奨励賞には表彰状が授与され、その荣誉が讃えられます。

選考対象は、「協会誌への掲載が可となった、投稿締切日時点で37歳以下の、または修士号取得後10年以内の執筆者による論文のうち、原稿応募時に「執筆者情報ファイル」において賞の選考を希望する意思が表明されていた論文」（選考規程第2条より）です。選考希望の意思表示のため、論文投稿の際、「執筆者情報ファイル」内の項目3の該当欄に「○」をご記入ください。

7 『近代英語研究』 電子アーカイブ化

独立行政法人科学技術振興機構のサイトに、『近代英語研究』が電子アーカイブ化されております。次のサイトにアクセスしていただければ、創刊号から第 24 号（2008）までの論考をパソコン画面上でお読みいただいたり、印刷してご利用いただけます。

- ・ 検索サイト（Google、Yahoo など）で「j-stage」と入力して検索
- ・ 「J-STAGE トップ - J-STAGE Journals - 科学技術振興機構」などをクリック
- ・ 右上の「誌名」タブを選び、「近代英語研究」と入力して検索
- ・ 青字の「近代英語研究」をクリック
- ・ 画面左端の「巻号一覧 近代英語研究」からお探しの号を選択し、目指す論考の「本文 PDF」をクリックしてください。

（※ 近代英語協会のホームページ<<http://www.modernenglish.jp/index.html>>左下の「協会出版物」からもリンクされています。）

なお、第 25 号（2009 年発行）以降の論考については、事務局から電子アーカイブ化の申請を行い、現在受理された状況です。いましばらくお待ちください。また、電子アーカイブ化された論考も、印刷版のものと同様に、すべての著作権は本協会に帰属することをご了解いただきたく存じます。

8 ホームページの図書紹介欄について

会員の皆様が出版された文献を本協会のホームページでご紹介いたします。紹介されたい会員ご自身の出版・著書（翻訳本も可）がございましたら、何年前のものでも結構です。タイトル、表紙の写真、および、著者が作成した紹介文（800 字程度）を添付し、IT 管理の川端朋広先生まで電子メールでお送りください。なお、書籍の実物については、保存スペースの関係上、事務局への送付はお控えください。

9 会費納入のお願い

本年度大会の資料をお届けした 5 月下旬、会員お一人お一人に過去 3 年間の会費納入の記録を記した紙を同封いたしました。どうか、いま一度ご確認いただき、納入漏れのないよう今年度中に請求額全額をお振り込みいただきますようお願い申し上げます。協会の円滑な運営のため、ご協力ください。

なお、協会は、別途領収証を発行することはいたしておりません。郵便局からお受取りになる「振替受付票」（右端の紙片）以上に公式な領収証はございませんので、大切に保管なさってください。また、納入の際は、必ず払込用紙にお名前のご記入をお願い申し上げます。

10 所属、および連絡先通知のお願い

所属、および連絡先（住所、E メールアドレス等）に変更があった場合は、速やかに事務局長（平山）までお知らせください。学生会員の方が学生の身分を終えられた場合も、会員種別が「学生会員」から「一般会員」へ変更となりますので、お知らせください。

なお、大会案内と年2回のニューズレター（夏号は『近代英語研究』同封）の他にも、事務局からご連絡を差し上げることがございます。その場合、電子メールをお送りしますので、新しい所属、および連絡先を通知される際は、できる限りEメールアドレスを添えてください。

また、住所等が正しく登録されているか確認を希望される場合も、事務局長までお問い合わせください。

11 事務局より

菊池繁夫先生を会長とする事務局の第1期2年が終了しようとしています。ご不便をおかけしたこともあったと存じますが、会員の皆様のご協力により、何とか第1期を終えることができそうです。特にこれまでの2度の大会運営では、経験豊富な開催校の先生方に大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。さて、この10月から、さらに現体制事務局の第2期目の2年が始まります。本協会の運営も時代に合わせて少しずつ変化しておりますので、これまでの経験を生かしつつ、気を引き締めて業務に取り組む所存です。

協会に関するお問い合わせとご連絡は下記の連絡先までお願いいたします。

- 協会誌について

坂内宏行

(sme.meajapan@gmail.com)

- ホームページについて（会員の出版された図書紹介もお寄せください）

川端朋広

(kawabata@aichi-u.ac.jp)

- その他全般について

平山直樹

(hirayama@onomichi-u.ac.jp)

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

事務局長 平山直樹